

山村塾は都市と農山村の住民が一緒になり、環境にやさしい米づくりや豊かな生態系の森づくりを通じて山村の環境を守るグループです

2024年3月号



こめづくり もりづくり ひとつづくり

山村塾通信



「山村塾 30 周年」

3月末でちょうど発足30年となりました。椿原・宮園・毛利の3家族が呼びかけ人となって山村塾の会員募集が行われ、今までたくさんの方々に参加いただきました。現在はNPO法人として登記され、役員・職員がいますが、発足当時は規約もなければ代表などの肩書もありませんでした。初代事務局の毛利宗孝さんは、「自分が米づくりや山仕事を覚えたくて山村塾の呼びかけをしたんだけど、おもったより人が集まって、成り行きで事務局をすることになった。」と笑って話をしていました。その後、国際ワーキングホリデーなどの事業がはじまって継続していく中で、代表や役員、規約などの整備が少しずつ進みました。

「山村塾って一体いくつの事業があるんですか？何人で運営しているんですか？」と驚いた感じで尋ねられることがあります。事務局スタッフは今も少人数ですが、椿原家や宮園家の受入農家をはじめ、地域の農林家さん、大学や企業、他の団体やグループの方々がかかわる中で、だんだんと事業が育ってきて、さまざまな山村塾の顔ができてきたんだと思います。わるく言うと思いつきの手あたり次第。いえいえ人と人との出会いによって生まれた賜物でしょう。

活動を続けていくには、計画的・経営的な視点も必要ではありますが、これからも出会った方々とのつながりの中で、棚田や里山といった山村の自然や暮らしを大切にする場を続けていけたらと思っています。皆さんも出来る形で皆さんなりの山村塾を思い描いてかかわっていただければ嬉しいです。31年目の山村塾もどうぞよろしくお祈いします！（小森耕太）



2024年1月7日左義長にて

※特定非営利活動法人山村塾 設立趣旨書（会員の皆さんはぜひご一読を！）
<https://sansonjuku.com/about/prospectus>



※設立30周年記念事業 4/6（土）シンポジウム「いろいろな生き物と共存する森づくり」
参加者募集中！ <https://sansonjuku.com/event-info/archives/299>



シンポジウム詳細はWEBへ↑

稲作コースより

3月は、米づくりの準備が始まる前の棚田で、石垣の草取りを行いました。鎌などを使って石垣を覆う草や土を取り除いていくと、きれいな石積み姿が姿を現してきます。やればやるほどきれいになるのが嬉しくて、この作業が一番好き！という声も。(私もです！)今の時期に手入れをすることで、夏場の石垣の草刈りがずいぶん楽になります。美しくなった石垣は、笠原の県道からもよく見えますので、ぜひご覧ください！

また今回は、草取りの合間で餅つきを行いました。最近行事の中で餅つきをする機会がなかったので、少し落ち着いたこの時期にやってみよう！という誠さんのアイデアです。玄米餅と白餅の2種類を杵でつき、みんなで丸めてお昼ごはんに頂きました。つくたてのお餅はふわふわで格別のおいしさでした。

さて、2024年度の米づくりが始まります。今年は、5月の「稲の種まき」と3月の「棚田の石垣草取り」が2回に増えます。棚田でお待ちしております！（原 愛子）

| 日付 | 行事名 | 会員 | 一般 | スタッフ | 計 |
|------|----------|----|----|------|----|
| 12/3 | しめ縄づくり | 38 | 0 | 8 | 46 |
| 3/3 | 棚田の石垣草取り | 19 | 0 | 8 | 27 |



夢中になる石垣の草取り (3/3)



もちつき
ぺったん！

農家の声

菜の花が咲き誇る今日この頃です。昨年の今頃は生前葬で一区切りをつけました。満一年が過ぎ、俗世間では一周忌とやらで故人を偲ぶ場として茶会を設けますが、相変わらず忙しくしております。

ここ数年は山村塾シニアの活動とは別に、同世代（55歳～70代）の地域有志で労務班を結成し、荒廃地の伐採、片付け、植栽（広葉樹）、夏場の下草刈りと、里山景観づくりそして保持活動を展開しています。特に今季は地元で樹齢70～80年の立派な枝垂れ桜の景観を阻害していた竹林や樹園地の伐採片付けを実施し、来季への作業箇所を少し残しながらも、全景が何とか望める作業成果を得ることができ、メンバー一同3月下旬の花見での再会を約束して散会しました。

国よりの多面的機能保全活動事業として、毎年計画的に実施しており、荒廃竹林の区域や今季のような景観を損ねる箇所の手入れ等、計画的に取り組んでいます。人の手が届かず荒れていく農

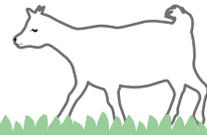
地は多々あり、気付けば取返しが付かない状況となりますが、一度伐採、植栽し、4～5年の下草刈り管理をすれば広葉樹の森として再生し、地域ひいては里山の豊かな景観となり、四季折々の魅力を提供してくれます。大変ですが、今後そんな場所を徐々に増やしていければの思いです。

※枝垂れ桜は、時期になればカメラ持参で各方面より撮影に見えます。皆様もいかがですか！



百姓
椿原 寿之

山林コースより



しいたけ菌打ち、「コンコン、コンコン」木槌でしいたけの種コマをクヌギの木の穴に埋めるときの音が響きます。穴をあけた木にせっせと小さな棒状の種コマを打ち込む作業は子どもでも集中してでき、けっこう無心になって楽しめます。今回の菌打ちでは、2日間で12,000個の種コマを打つことができました。打った後はトラックに積み込み、寝かせておく場所に運びました。みんなの共同作業でこれもまた楽し！でした。1年半後に美味しいしいたけが顔を出します。

炭焼きは、宮園家の炭窯のつくりと歴史の話から始まります。前回(2/17)焼いた炭を窯から運び出し長さを切りそろえて袋に詰めていきます。炭の断面は、黒曜石みたいに黒光りして美しい！空になった窯には、次の炭になる生木を運び入れて昼食後に点火しました。12時間燃やし続けるために、宮園さんはその晩張り付きです！宮園さん、ガンバ！！

毎年作業の度に思うことですが、しいたけ、炭ともに手間のかかる作業あつての産物だなあと実感します。感謝♡ (木村 陽子)

| 日付 | 行事名 | 会員 | 一般 | スタッフ | 計 |
|-------|----------|----|----|------|----|
| 11/26 | 森の手入れ② | 6 | 1 | 4 | 11 |
| 2/3 | しいたけ菌うち① | 14 | 0 | 5 | 19 |
| 2/4 | しいたけ菌うち② | 7 | 0 | 5 | 12 |
| 2/17 | 炭焼き① | 5 | 0 | 3 | 8 |
| 3/10 | 炭焼き② | 9 | 2 | 4 | 15 |



炭窯、点火完了！(3/10)

久しぶりに原稿を書いています。2、3月は椎茸菌打ち、炭焼きと、行事に沢山ご参加いただきありがとうございました。

今年是我が家で、椎茸の菌を総数35,000個打ちました。2年後には沢山の椎茸を収穫出来ることでしょう。今は菌打ちの終わった原木を林内に伏せこむ作業をしています。あと数日かかりそうです。その合間で椎茸の収穫です。今年は、気候変動の影響か例年に比べて収穫量が少ないようです。自然相手はなかなか難しく思うようにはいきません。行事では、少しですが椎茸のホダ場の見学と収穫体験も行いました。いかがでしたか？寒い時期の活動ですが、次回もお待ちしています。

炭焼きは、今回炭にする樫の木の調達を日帰りボランティアで手伝っていただきました。3/10の炭焼きは、14時くらいに火をつけて、2時間毎、夜中の2時まで燃やし続けました。窯を閉めたのが13日の昼でした。

炭窯を作って20数年がたち、老朽化しています。我ながら窯が壊れずにいることに感心しています。山林コース会員さんの「炭焼きをしてみたい」という声で始まった炭焼き。まずは炭窯作り

からのスタートでした。赤土を集めるのも初めてで、親父に相談しましたが、「俺は作りたくない」と断られ、大正生まれの親戚のおじいさんの指導を受けながら完成しました。小森理事長も当時はまだ大学生でした。

この窯が壊れたら、私には新しく作り直すことはできません。この地域でも炭焼きの文化はなくなりつつあります。しかし、炭の需要は、最近のキャンプブームや、焼き鳥等炭を使った職種の方、地域の水の浄水等まだまだあるようです。最近、笠原の若い人から、「炭焼きをやってみよう」と言われました。今後、色々なこと(お茶、椎茸、米づくりも含め)が若い世代に繋がって欲しいと思います。今後の方向性として若い人との交流も考えていきたいと思っています。



山林コース
宮園 福夫

山村塾＊活動レポート

CSO ラーニング制度インターン

…SONPO 環境財団が主催する、環境 NPO・NGO へのインターンプログラムに参加し、山村塾でインターン生として活動した船戸さんのレポートです。

船戸 祭さん

私は、ホームページを見て山村塾を知りました。「棚田での米作り」「山村体験」の自然を感じさせる言葉と緑が一面に広がる棚田の景色に心を奪われ、山村塾へ行ってみたいと思うようになりました。この自然の美しさとその自然環境を守っている活動に興味を持ったことがきっかけで、インターンへの参加を決めました。

8ヶ月間のインターンでは、山村塾に滞在しながら様々なイベントに参加しました。生態系も自然も人も豊かなこの地域で、初めての長期インターンでしたが、生活には全く不安もなく業務や運営を遂行できました。この8ヶ月間、私が全力で楽しく、生き活きと活動できたのは間違いなく、スタッフの方や地域の方々のサポートがあったからこそだと思っています。また、私の最大の楽しみは「食」でした。自然に恵まれたこの地域では新鮮な水から作られるお米が格別で、何杯でもおかわりできるくらい美味しいです。また、自ら野菜や米の生産の過程に携わることで、その美味しさを倍で感じられます。



楽しい思い出もたくさんあるのですが、その中でもインターンを通して学んだことは「NPO 法人のスタッフとしての自覚と行動」です。少人数のスタッフで、行事やイベントなどを遂行するには、指示待ちの行動ではなく周囲の状況を察知しながら臨機応変に行動することが求められます。参加者目線になることに加え、運営者目線で

物事を考え、先回りの行動をすることを心がけていました。特に、スタッフ同士の会話を重視してイベントや行事が円滑に進むように「今自分は何をすれば良いのか」ということを常に考える必要があります。私は、この8ヶ月間のインターンを通して、徐々に「スタッフとしての自覚と行動」が自然と身につき、以前より柔軟な対応力がついたと思います。

CSO ラーニング生としてのインターンは終わりますが、今後も大学院を卒業するまで、継続的に山村塾のスタッフとしてこれからも活動したいと考えています。これまで関わっていただいた皆様、心から感謝申し上げます。

その他の活動報告

| 日付 | 活動内容 | 会員 | 一般 | スタッフ | 計 |
|------|---------------------|----|----|------|----|
| 1/6 | 左義長準備 | 18 | 8 | 10 | 36 |
| 1/7 | 全体行事「左義長」 | 51 | 8 | 10 | 69 |
| 2/11 | 里山ミニワーク「みそづくり」 | 11 | 1 | 6 | 18 |
| 2/27 | 森林療法ボランティア研修会 現地実習① | 1 | 17 | 4 | 22 |
| 2/28 | 森林療法ボランティア研修会 現地実習② | 1 | 11 | 5 | 17 |



森林療法ボランティア研修会

山村塾は、障がい者の支援を行う「社会福祉法人たからばこ（柳川市）」と連携し、毎月2回、障がいを持った方々と里山整備を行うなどの森林療法プログラムに取り組んでいます。

2月に東京農業大学の原上先生を講師に招き、森林療法についてのオンライン講座と現地実習を行いました。定例活動のフィードバックを得たり、森の中で静かに過ごすプログラムを体験するなど、森の魅力や楽しさを改めて感じる機会となりました。

日帰りボランティア

12月～3月の期間に計4回開催し、延べ9名の方々に参加いただきました。梅の木の剪定や、薪づくり、炭焼きに向けての材集め等を行いました。山村塾の笠原棚田ウメ園の手入れが進み、来季の実の収穫が楽しみです。ご参加ありがとうございました！

◆4月以降も、月に2回程度の活動を予定しています。6月からは田んぼやらっきょう仕事も始まります。詳細はホームページをご覧ください。



講師を招き、梅の剪定をしました(12/13)

～お知らせ～

ウッドボイラー紹介ページ公開！

四季菜館やえがおの森では、お湯を沸かすのに、丸太をそのまま燃やせる「ATOウッドボイラー」(薪ボイラー)が活躍しています。山村塾では、このウッドボイラーの販売も行っています。

このたび、山村塾のWEBページ内にウッドボイラーの紹介ページを立ち上げ、4組のユーザーの声を掲載しました。皆さんそれぞれにウッドボイラーの使い方や魅力をたっぷりと語っていただきました。ぜひご覧ください！

このページの製作には、プロボノライターの奥野妙子さんにご協力いただきました。



ウッドボイラーのページ↓



行事参加費が変わります

2024年4月より、活動コース行事参加費を以下のように改定します。

一部行事・里山ミニワークは参加費が異なります。詳しくは各行事の募集要項をご確認ください。

| 属性 | 区分 | 参加費 |
|-------------|-----------|--------|
| 活動コース 会員 | 大人・中学生以上 | 600円 |
| | 4歳～小学生 | 300円 |
| | 3歳以下 | 無料 |
| 一般の方 | 大人 | 2,000円 |
| | 学生(中学生以上) | 1,500円 |
| | 4歳～小学生 | 1,000円 |
| | 3歳以下 | 無料 |

山村塾 今後の予定

| 日程 | 行事名 |
|---------------|---------------------------|
| 4/6(土) | 「いろいろな生き物と共存する森づくり」シンポジウム |
| 4/14(日) | 全体行事「顔見せ会」 |
| 5/3(金)～4(土) | 里山ミニワーク「お茶つみ」 |
| 5/5(日) | 稲作コース「稲の種まき①」 |
| 5/18(土)～19(日) | 里山ミニワーク「棚田の草刈り」 |
| 5/25(土) | 第11回通常総会 |
| NEW! 5/26(日) | 稲作コース「稲の種まき②」 |
| 6/2(日) ※調整中 | 山林コース「下草刈り①」 |
| 6/8(土)・9(日) | 稲作コース「田植え①・②」 |
| 6/16(日) | 稲作コース「鴨進水式」 |
| 7/14(日) | 稲作コース「田の草取り①」 |
| 7/28(日) | 山林コース「下草刈り②」 |
| 8/1(木)～3(土) | 山村たんけんキャンプ(子どもキャンプ) |

▶行事・里山ミニワーク等の開催について、最新情報はホームページ、メールニュースにてご案内します。

※イベント情報のご案内を、FAXや郵送で希望される方は、事務局までお知らせください。

2024年度年間予定を
ホームページに掲載しています→



事務局より



会員募集中!

- **NPO 会員**：山村塾の趣旨に賛同し、会員として私たちの活動を継続的に応援して下さる NPO 会員を募集しています。総会での議決権を持つ「正会員」と、議決権を持たない「賛助会員」があります。
- **活動コース会員**：いっしょに田んぼや山で働く活動コース会員（稲作・山林、稲作、稲作 30kg、山林、古里）をいつでも募集しています。

ご寄附のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄附で支えられています。山村の暮らしに学び、山村の環境を守る取り組みに、ぜひご協力をお願いいたします。

【山村塾は「認定 NPO 法人」です】

山村塾へのご寄附は、確定申告をすることで寄付金控除の対象となります。

▶ご寄附の方法

■郵便振込口座から

加入者名：特定非営利活動法人山村塾
口座番号：01790-3-169398

■銀行から

- ・銀行名：ゆうちょ銀行 店名：一七九（店番：179）
口座：当座 0169398
- ・銀行名：福岡銀行 黒木支店
口座：普通 1085398

特定非営利活動法人山村塾 理事長 小森耕太
※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレスをお知らせ下さい。

■農産物を買う

会員の方が、椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割がヤマヤマ基金へ入ります。

■古本で寄付ができます!

古本や DVD を「きしゃぼん」にお送りいただくと、買取金額が山村塾への寄付となります。ぜひご協力をお願いします。（古本集荷依頼 TEL：0120-29-7000、山村塾に寄附したい旨をお伝えください。）

会員状況（2024年3月末時点）

▶ NPO 会員

【正会員】 個人：34 名、団体：4 団体

【賛助会員】 個人：86 名、団体：2 団体

▶ 2023 年度活動コース会員

稲作・山林：5 名、稲作 23 名、稲作 30kg：16 名、山林：15 名、古里：8 名

▶ 笠原棚田米サポーター

79 名（個人 76 名、企業・団体 3 名）

寄附者（2023年11月～2024年2月）

▶個人からのご寄附

2023年11月1日から2024年2月29日までに、46件 564,900円のご寄附を頂きました。

▶企業・団体からのご寄附

- ・古本募金きしゃぼん様を通じてご寄附をいただきました。（12/20：1,167円、1/26：16,975円）
- ・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様から、300,000円のご寄附をいただきました。（1/25）

ご寄附のお礼

認定 NPO 法人の要件となる PST 判定に該当するご寄附を【112名】の方から頂きました。（3/20 現在）PST とは、認定 NPO 法人であるための条件の一つで、毎年 100 名以上の方に 3,000 円以上のご寄附（賛助会員会費含む）を頂く必要があります。おかげさまで、今年度も目標を達成することができました。皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。

6/1・2「森林と市民を結ぶ全国の集い」開催

現地視察を山村塾が担当します。ケヤキ林等の視察や、えがおの森で森林ボランティアに関するディスカッションを行う予定です。ぜひご参加ください！詳細はホームページでお知らせします。



編集後記

なかなか寒い日が続く3月、咲きかけた花もびっくりして足踏みしていそうです…。春の笠原は色とりどりの花があふれ、これぞ桃源郷～という感じになります。春本番が楽しみです！（原 愛子）

山村塾の SNS
発信中!

Facebook



Instagram



お問い合わせ大歓迎! /



こめづくり もりづくり のとづくり

山村塾 認定 NPO 法人 山村塾

〒834-1222 福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL・FAX 0943-42-4300

Email: info@sansonjuku.com HP https://sansonjuku.com

FB @sansonjuku Instagram @sansonjuku_official

発行者：小森 耕太

編集者：原 愛子

※山村塾は認定 NPO 法人です。山村塾へのご寄附は寄付金控除の対象となります。

最新情報はホームページより

山村塾

検索

